

令和6年度学校評価報告書

令和7年(2025年)3月19日

北海道教育委員会教育長 様

北海道網走南ヶ丘高等学校長 與 田 顕 規

次のとおり令和 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<p>【スクール・ミッション】 地域から期待されているオホーツク東部の中心校として、広域から入学する多様な生徒の豊かな心と健やかな体をはぐくみ、社会に貢献できる指導的役割を担う人間を育成します。</p> <p>【スクール・ポリシー】 〈グラデュエーション・ポリシー：卒業の認定に関する方針〉 ・「基本的生活習慣」の確立 = 明澄端正・奉仕勤労 ・「自ら学ぶ態度」の確立 = 自主自立・明澄端正 ・「家庭学習習慣」の確立 = 奉仕勤労・自主自立 〈カリキュラム・ポリシー：教育課程編成・実施に関する方針〉 生徒一人ひとりの進路希望の実現や学力を伸ばすため、卒業後の進路や適性を踏まえた教科・科目選択を行い、自分に合った時間割を生徒自ら作成できるよう教育課程を編成し、確かな学力の向上を目指した授業を実施する。 〈アドミッション・ポリシー：入学者の受け入れに関する方針〉 ・大学進学等、将来の目標をしっかりと持ち、自ら学ぼうとする意欲の高い生徒 ・生徒会活動や学校行事、部活動等において、リーダー性を発揮し、主体的に取り組む生徒</p>
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導について、教員は適切な態度で授業を行い、指導についても適切に行われている。 今年度、家庭学習の取り組みや学力が向上したと感じている生徒は昨年度よりも減少している状況がある 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用とともに、安易に答えだけを求めるような学習ではなく、「読み」や「書き」を繰り返す等の学習も大切にしながら、粘り強く主体的に取り組む姿勢も育成していただきたい。 海外見学旅行の実施については、学校間交流等、充実した内容を検討していただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ICTを有効活用した授業改善や個別最適な学びの充実を推進し、自ら学ぶ態度を育成する。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒や保護者からは本校の進路指導に対して、概ね理解をいただいている。 多様な進路希望の実現を図る取組の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導において、最近の傾向として指定校推薦や総合型選抜を活用することが多くなっている。進学先でも困らないように日頃から自分たちで学力を高める努力が大切である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップや進路ガイダンス等の工夫・改善や多様な進路指導に対応した指導や情報共有を推進する。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関やスクールカウンセラーなどとの連携により教育相談の充実を図ることができた。 生徒会や保護者の意見を取り入れながら、校則の改善を図るなどの取り組みを推進できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 在学中に人間力やコミュニケーション力を高める指導も行って欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した教育相談体制の構築と計画的組織的な研修体制の構築を推進する。 	
保健環境	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症対策対応マニュアルの見直し等、健康・安全管理指導の充実を図った。 定期的な保健だよりの発行により健康に関する意識の高揚を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSに関する効果的な指導を実践していただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 保健だよりや生徒会によるポスター作成・掲示等による啓蒙活動の充実を図る。 	
公表方法	学校だより、学校ホームページ、学校評議員会、PTA役員会	

3 添付資料

- 令和6年度 北海道網走南ヶ丘高等学校全日制 学校評価票